

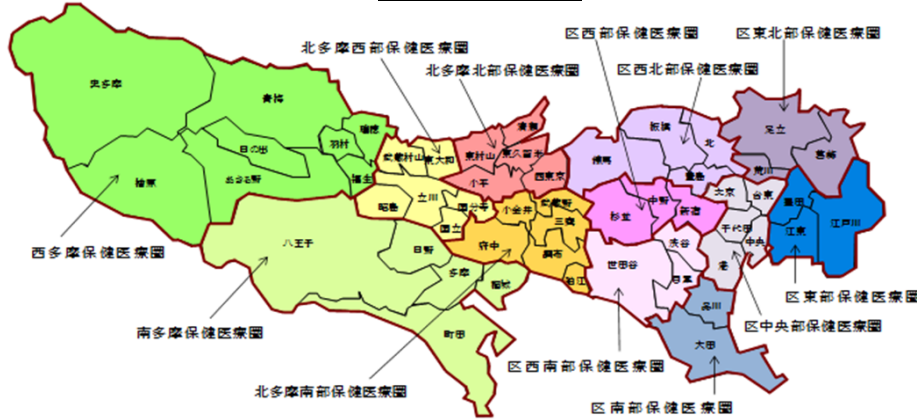
救急医療に関する事業ごとの医療提供体制

資料4-3

- 東京では、交通網の発達や高度医療提供施設が集積などの地域特性の下、患者の受療動向等を踏まえた様々な医療連携の取組が進展
- 都は、そうした自主的な取組を尊重しつつ、**疾病・事業ごとの切れ目のない医療連携システムの構築を推進**
- 都は、これまで培われてきた連携体制を基盤としつつ、患者の受療動向や医療資源の分布状況に応じて、**事業推進区域（疾病・事業ごとに医療連携を推進する区域）を柔軟に運用**

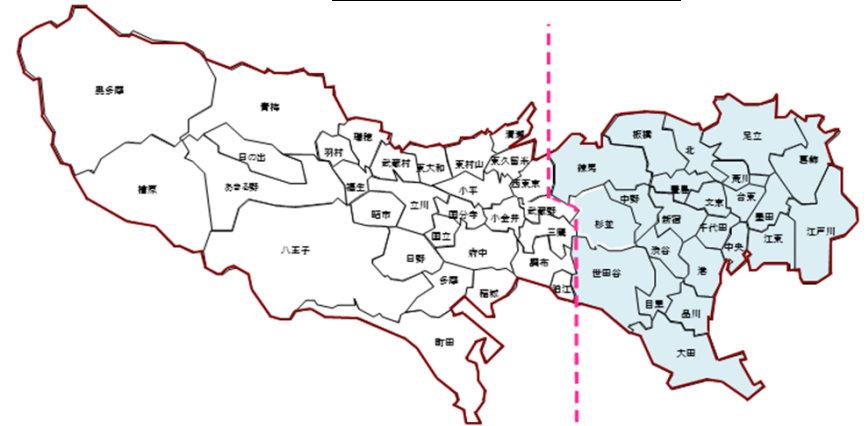
二次救急（東京ルール）

二次保健医療圏



吐下血（東京ルール）

区部・多摩部で2ブロック



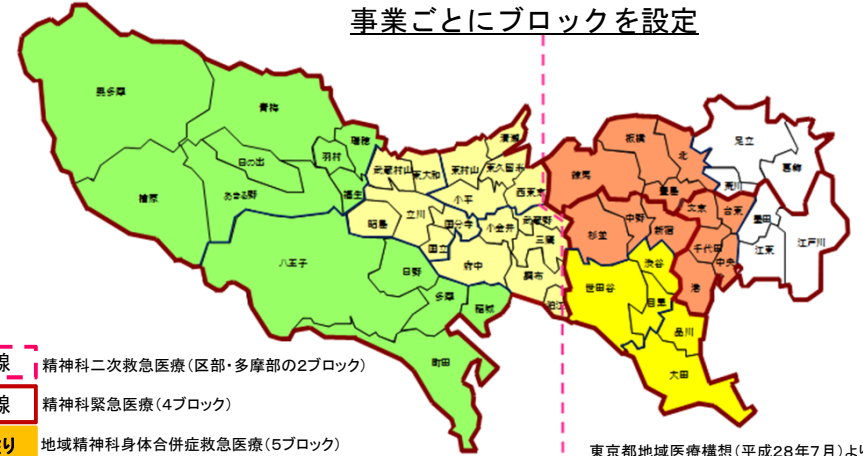
救命救急、精神身体合併症・開放性骨折（東京ルール）

都全域



精神疾患

事業ごとにブロックを設定



- 点線** 精神科二次救急医療(区部・多摩部の2ブロック)
- 実線** 精神科緊急医療(4ブロック)
- 色塗り** 地域精神科身体合併症救急医療(5ブロック)

東京都地域医療構想(平成28年7月)より抜粋